

5/29
五夜

「共謀罪」法案にノー



「安倍政権を倒そう」の訴えに声援を送る人たち―28日、東京・新宿駅西口

今こそ立ちあがる時

市民連合・総がかり実行委 大街道宣

東京・新宿

す。いまこそ私たちが国のため、国民のために立ちあがり、声をあげるときです」

「共謀罪」法案について、弁護士山田聡美さん(28)がスピーチしました。「テロは武力行使ではなくせません。テロを防ぐためには、米国の軍事攻撃に関わらないことが必要です。この法案は、安倍政権が進める戦争への道の一つであり、それではかえってテロを呼び込んでしまいます。絶対に反対です」

最低賃金1500円などを求めて活動する「AEB QUITAS」(エキタス)のメンバーで大学3年生の永田爽真さん(21)は「国会での政府答弁は本当にひどい。言葉を壊し、うそをつき続ける政権に怒りを覚えます」と強調。より良い社会にするため一緒に声をあげようと訴えました。

民進党の有田芳生、日本共産党の吉良よし子、参院会派「沖縄の風」の伊波洋一の各参院議員があいさつしました。

きょう国会行動

「総がかり行動実行委」などは29日正午から、参院本会議での「共謀罪」法案審議入りに対して国会議員会館前で行動します。

市民と野党による大街道宣伝が28日、東京・新宿駅前で行われました。学者、ママ、若者、弁護士、著名人、野党の代表が次つぎとスピーチ。「共謀罪」法案を廃案にするために力をあわせようと訴えると、聴衆から「そうだ」の声があがりました。主催は、「安倍

市民と野党による大街道宣伝の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合(市谷修さんは「安倍政権がやっっていることは政治の私物化だ。これが国民に『戦争をさせる国』の実態で